



禅の里

門前東小学校だより

令和3年11月29日 第9号

人権教育推進事業研究発表会

門前東小学校 校長 浅見 淳一

令和2・3年度に渡り、県教育委員会から人権教育推進校、市教委から指定研究校に指定され研究に取り組んできた2年間の成果を披露すべく、11月12日(金)、本校にて研究発表会を行いました。当日、受付・駐車場係としてご協力下さった保護者の皆様、誠にありがとうございました。



日本の子ども達は「自尊感情(自己肯定感)が低い」とよく言われます。それは本校児童にもあてはまり、これまでの大きな課題でした。今回の研究指定を、児童の自尊感情、そして人権意識の向上を目指すためのよい機会と捉え、これまで取り組んできました。

「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」ができる児童の育成が、本校の目標です。

ご来賓、ご参会された方々
本校の人権教育の研究は、「授業づくり」と一体となっています。「思いやりや感謝の心を育みつつ、認め合い、学び合う授業づくりを推進し、自己理解・他者理解を促進すれば、児童一人一人の人権意識が高まり、豊かな人間関係を築く児童を育成することができるであろう」との共通理解のもと、(1)思いやりや感謝の心の育成、(2)認め合い、響き合う授業づくり、(3)自己・他者理解の促進、(4)個別的な人権課題の理解、を重点目標に設定し、取り組んできました。また、児童も、自分達の願いから作ったスローガン「みんなが笑顔の門前東小学校」の達成を目指し、これまで6年生を中心に頑張ってきてくれました。このように、職員・児童が一体となって、人権教育の取組を進めてきたのです。



本校の研究についての説明



ご講演くださった神野ちどり先生

取組を進める上で、地域の方々との交流活動に、特に力を入れてきました。輪島分校との交流では、自他の違いを認めお互いを尊重し合う態度や、相手のことを深く理解しようとする態度の育成を図りました。また、自分達を支えて下さっているの方々への感謝の心を育むために、授業参観として皆さんに観ていただいた道徳科の授業では、全ての学級で地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、地域に生きる方々の生き方を学びました。

このように本校は、豊かな人間関係を築く土台づくりを大切にしながら、家庭・地域と連携した組織的な人権教育の推進に努めてきました。しかし、まだまだ道半ばです。今後も職員一同、さらなる児童の自尊感情・人権意識の向上に向けて取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、研究を推進するにあたり、保護者・地域の皆様には、これまで様々な形で、本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。今後も、よろしくお願いたします。

12月の予定

日	曜	学校行事
1	水	
2	木	
3	金	薬物乱用教室6年
4	土	
5	日	
6	月	ノーゲームデー、輪島塗沈金パネル制作6年
7	火	県評価テスト5年
8	水	全校テスト(算数)、クラブ⑦
9	木	
10	金	児童集会⑧
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	市学力テスト①
15	水	市学力テスト②、児童委員会⑧
16	木	ノーゲームデー
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	2学期終業式、SB13:00一斉、通知表渡し
25	土	冬季休業(~1月10日)
26	日	ノーゲームデー
27	月	
28	火	
29	水	学校閉庁(~1月3日)
30	木	
31	金	



春日用水見学4年



社会科の学習で、春日用水へ行きました。毎年水不足で苦しんでいた稲舟台地ですが、およそ400年前に春日用水が作られてからは、潤沢な水資源で潤っています。

造成を指揮したのは板屋兵四郎。彼は、輪島三大用水(春日用水、千枚田に水を供給している谷山用水、尾山用水)や、金沢城に水を運ぶ辰巳用水を完成させたと言われています。すごい人物ですね。4年生、大満足で学校へ帰りました。



道徳授業参観

11月はじめの週は、教育ウィーク。今年は、コロナが比較的落ち着いてきたことから、一週間の学校公開を行いました。2日の授業参観は全学級道徳で、どの学級もゲストティーチャーをお招きしての授業でした。ゲストティーチャーの皆様、ありがとうございました。



1年は、七浦公民館の升本庄五郎館長をGTに迎え、七浦地区に残るユネスコ無形文化遺産「アマメハギ」について語っていただきました。授業後半、突然アマメハギの「ガチャ」が登場し、「言うこときかんやつはおらんか?」「勉強せんやつはおらんか?」と言いながら児童に近づいてきました。1年生は全員、あっという間に保護者の後ろに隠れました。一部児童は、ガチャが近づいてこないように、「言うこときく!」と必死に約束していました。



2・3年は、「一枚の銀貨」という教材で、家族について考えました。保護者の高橋さんをGTに迎え、家族と一緒にいることのありがたさを感じました。保護者からの手紙を読んで涙を流す児童もいました。



4・5年は、米作り体験でお世話になった中橋政久さんをGTに迎え、米づくりへの思いを語っていただきました。同時に、日本が抱える現在の農業の課題にも言及し、児童に考えさせて下さいました。



6年は、校歌を作って下さった酒井郷夫さんをGTに迎え、校歌に込めた思いを語っていただきました。歌詞の中に、本校の4地区のことが盛り込まれていることを知った児童。校歌のことが、より好きになったようです。

授業後、保護者と4～6年生を対象とした非行被害防止講座も行いました。

詩人との出会い～2人の星野さん～

全校集会で、児童たちに2人の詩人（星野道夫さんと星野富弘さん）を紹介しました。



ぼくは、あわてて岸を駆け上り、川の上流に下流にも、いつのまにか、クマがあちこちにいるのです。

写真家や探検家でもある道夫さんは、アラスカの地にて、何十万枚もの写真を撮りました。その写真はどれも素晴らしく、大自然の雄大さと、そこに住む動物たちの生命力の強さを感じさせてくれますし、それを表現する「詩」もまた、読む人を大自然の中に誘います。残念ながら道夫さんは熊に襲われて命を落としてしまいましたが、残された作品の数々が今も私達を引きつけています。

画家でもある星野富弘さんは、元は体育の先生でした。不幸な事故で首から下が動かなくなった富弘さんは、それからしばらくして、(家族の支えで)口に筆を加えて花の絵を描くようになりました。その絵が本当に素晴らしく、何も知らずにこの絵を観た人は、まさかそんな中で描かれた絵だとは想像できないでしょう。添えられている「詩」も、読む人に感動を与えてくれます。

嬉しきあいのちのついでに
かたしきあいのちのついでに
たつたりのついでに
たつたりのついでに
たつたりのついでに
たつたりのついでに



いしかわっ子駅伝交流大会

2年ぶりに男女同時出場となった、文化の日恒例の「いしかわっ子駅伝交流大会」。金沢市の西部緑地公園陸上競技場周辺特設コース1.5kmを、5人がタスキを繋ぎ、走ります。

男女チームとも5人ギリギリでのエントリーでしたが、全員参加でき、ほっとしました。女子の部では、61チームが参加しました。本校は43位でゴールしました。



第1走	6年	さん	6分10秒
第2走	6年	さん	6分28秒
第3走	5年	さん	6分28秒
第4走	6年	さん	6分32秒
第5走	6年	さん	6分31秒



男子の部では、54チームが参加しました。本校は51位でゴールしました。

第1走	5年	君	5分46秒
第2走	6年	君	7分38秒
第3走	6年	君	6分30秒
第4走	5年	君	6分57秒
第5走	5年	君	6分49秒



この大会は、男女とも各チーム5・6年が5～7名参加する必要があります。来年の女子は、5・6年合わせて2名しかいないので出場できません。しかし今年は、6年を中心に本当によく頑張りました。

男子は、今年は5年中心のメンバーでした。児童が力をつけた来年のさらなる活躍に大いに期待しましょう。応援下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

